

# 2019年8月期 決算説明会

2019年10月24日

# 目次

---

会社概要	3
連結決算の概要	8
通期業績見通し	13
成長戦略	19
参考資料	33

# 会社概要

# 会社概要

## 社会インフラを支える水と空気のプロフェッショナル集団

社 名：ポエック株式会社 Puequ Co., LTD.

上場証券取引所：東京証券取引所 JASDAQ市場（証券コード：9264）

設 立：1989年1月25日

本 社：〒721-0973 広島県福山市南蔵王町2-1-12

代 表 者：代表取締役社長 来山（きたやま）哲二

代表取締役副社長 采女（うねめ）信二郎

資 本 金：622,785千円（2019年8月現在）

従業員数：74名/連結212名（2019年8月現在）

事 業 所：仙台・北陸・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福山・松山・高松・福岡

連結子会社：株式会社三和テスコ（香川県高松市）

東洋精機産業株式会社（岡山県岡山市）

株式会社ミモト（香川県坂出市）

# 事業内容

## 環境・エネルギー事業

環境・水処理機器の販売  
修理・メンテナンス



ポンプ

プレート&シェル  
熱交換器



水中攪拌機



景観配慮型防潮壁  
(SEAWALL)

## 動力・重機事業

プラント設備



ボイラー・圧力容器等

大型船舶エンジン台版



エンジン台版

機械加工部品 小型精密部品



## 防災・安全事業

電気不要の  
スプリンクラー消火装置  
「ナイアス」

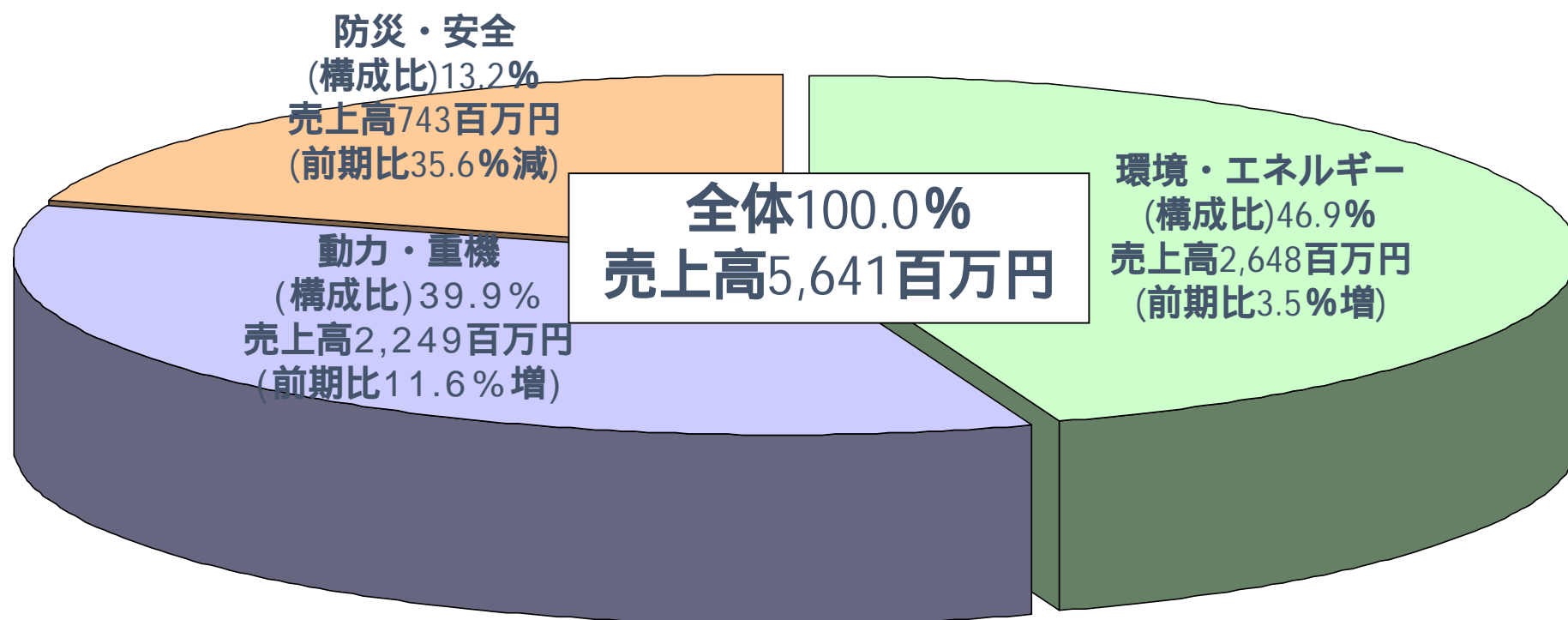


その他消防機器販売・設置工事

19/8期 連結売上高 5,641百万円

# 事業内容

## 「セグメント別売上高・構成比」

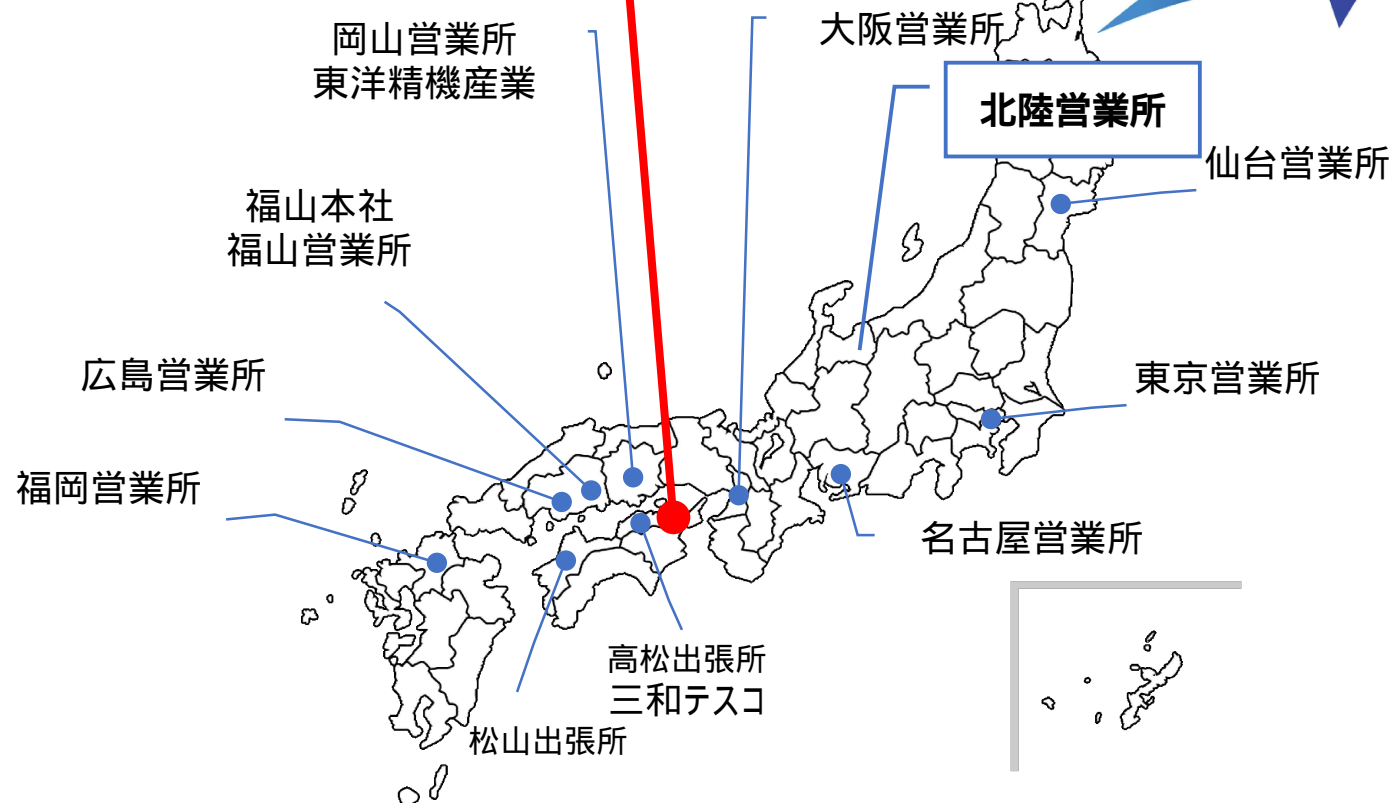


# 事業拠点概要

拠点展開エリア（全国9事業所 2出張所 連結子会社3社）

2019年5月株式会社ミモト買収

2019年北陸出張所人員体制を強化し営業所へ昇格。



# 連結決算の概要



# 主要な経営指標等

単位：千円

	18/8月期 通期連結実績	19/8月期 通期連結実績	増減	主な要因
売上高（千円）	5,730,807	5,641,849	88,958	
経常利益（千円）	159,641	193,465	+ 33,824	
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	128,740	143,671	+ 14,931	
純資産額（千円）	1,271,994	1,674,934	+ 402,943	第三者割当による第3回新株予約権/役職員ストックオプション行使による資本増加等
総資産額（千円）	7,273,676	7,981,283	+ 707,607	
1株当たり当期純利益金額	76.02	73.80	2.22	
自己資本比率（%）	17.5	20.9	+ 3.4	
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	240,859	151,824	-	
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	344,112	178,663	-	
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	3,318	175,575	-	
現金及び現金同等物の四半期末（期末） 残高（千円）	1,048,576	1,197,160	+ 148,584	

# 連結損益計算書 (P/L)

18/8期前期実績 及び 19/8期予想との比較

単位：千円

	18/8月期末 通期実績	19/8月期末 通期実績	前期比増減 (%)	19/8月期末 通期連結 業績予想
売上高	5,730,807	5,641,849	1.6	5,782,000
売上総利益 (率)	1,095,766 19.1%	1,090,538 19.3%	0.5	-
販売管理費	898,361	882,616	1.8	-
営業利益	197,404	207,922	+5.3	281,000
経常利益	159,641	193,465	+21.2	264,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	128,740	143,671	+11.6	170,000

# 連結貸借対照表 (B/S)

単位：千円

		18/8月期 通期実績	19/8月期 通期実績	前年同期比 (%)	主な増減	要因
資産の部	流動資産	3,668,384	4,189,971	114.2		
	固定資産	3,605,292	3,791,311	105.1		
	うち有形固定資産	2,834,346	2,997,202	105.7		
資産合計		7,273,676	7,981,283	109.7		
負債の部	流動負債	3,184,428	3,753,447	117.8		
	固定負債	2,817,253	2,552,901	90.6		
	負債合計	6,001,681	6,306,349	105.1		
純資産の部	資本金	460,758	622,785	135.2		
	資本剰余金及び利益剰余金	857,296	1,069,109	124.7		
	株主資本合計	1,318,055	1,691,895	128.4	+373,840	第三者割当による第3回新株予約権/役職員ストックオプション行使による資本増加
	その他有価証券評価差額金	46,060	26,923	-		
	純資産合計	1,271,994	1,674,934	126.2		
負債純資産合計		7,273,676	7,981,283	101.8		

# セグメント別損益状況

単位：千円

売上高	18/8月期 通期実績	19/8月期 通期実績	前年 同期比 (%)	増減額	主な増減要因
環境・エネルギー事業	2,559,177	2,648,101	103.5	+88,924	人材投資等による需要開拓効果
動力・重機等事業	2,016,098	2,249,911	111.6	+233,813	船舶・産業機械市場の需要が上昇傾向
防災・安全事業	1,155,531	743,836	64.4	411,695	補助金採択率の低下、持ち越し案件増加
合計	5,730,807	5,641,849	98.4	88,958	

セグメント利益	18/8月期 通期実績	19/8月期 実績	前年 同期比 (%)	増減額	主な増減要因
環境・エネルギー事業	117,974	86,513	73.3	31,461	人材投資等による経費負担の増加
動力・重機等事業	89,657	155,883	173.9	+66,226	子会社3社のコスト低減により利益率が上昇
防災・安全事業	96,068	68,876	71.7	27,192	
合計	303,700	311,274	102.5	7,574	

# 通期業績見通し

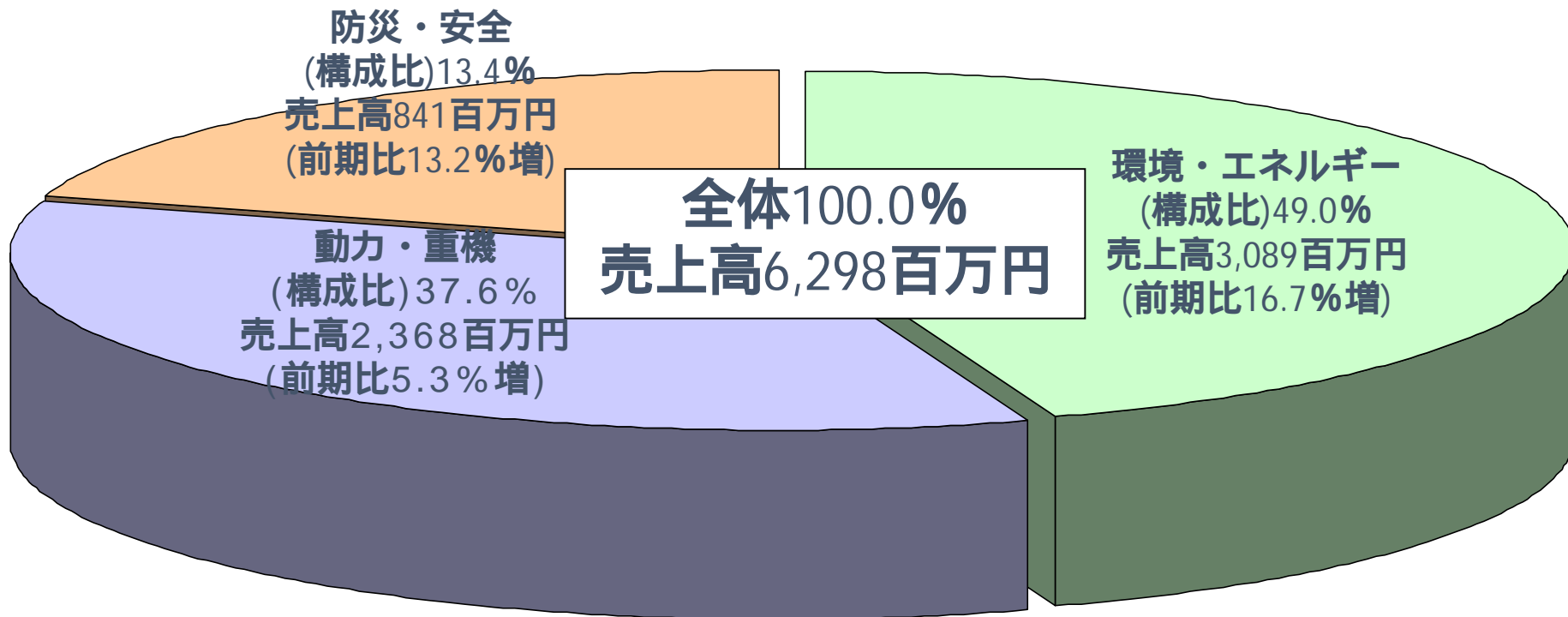
# 予想-連結損益計算書（P/L）3期間比較

単位：千円

	18/8月期末 通期実績	19/8月期末 通期実績	20/8月期末 通期連結 業績予想	前期比 増減 (%)
売上高	5,730,807	5,641,849	6,298,000	+11.6
売上総利益	1,095,766	1,090,538	1,268,000	+16.2
販売管理費	898,361	882,616	1,022,000	+15.8
営業利益	197,404	207,922	246,000	+18.3
経常利益又は経常損失	159,641	193,465	242,000	+25.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	128,740	143,671	148,000	+3.0

# セグメント別予想

## 「セグメント別予想-売上高・構成比」



# 配当方針

## 基本方針

将来の事業展開に必要な内部留保を見据えた株主還元  
業績を考慮しながら安定配当を継続して実施  
年1回の期末配当として剰余金の配当を行う

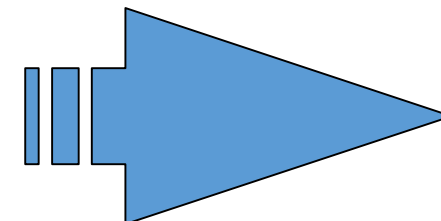
来期は課題となっている財務体質の改善、M&A等による事業  
拡大を目指すために内部留保の必要性を認識。

中長期的視点で株主還元を考えた配当方針により、  
20/8期は35円予想。

2006/8月期から2019/8期（予定）まで

## 配当実績

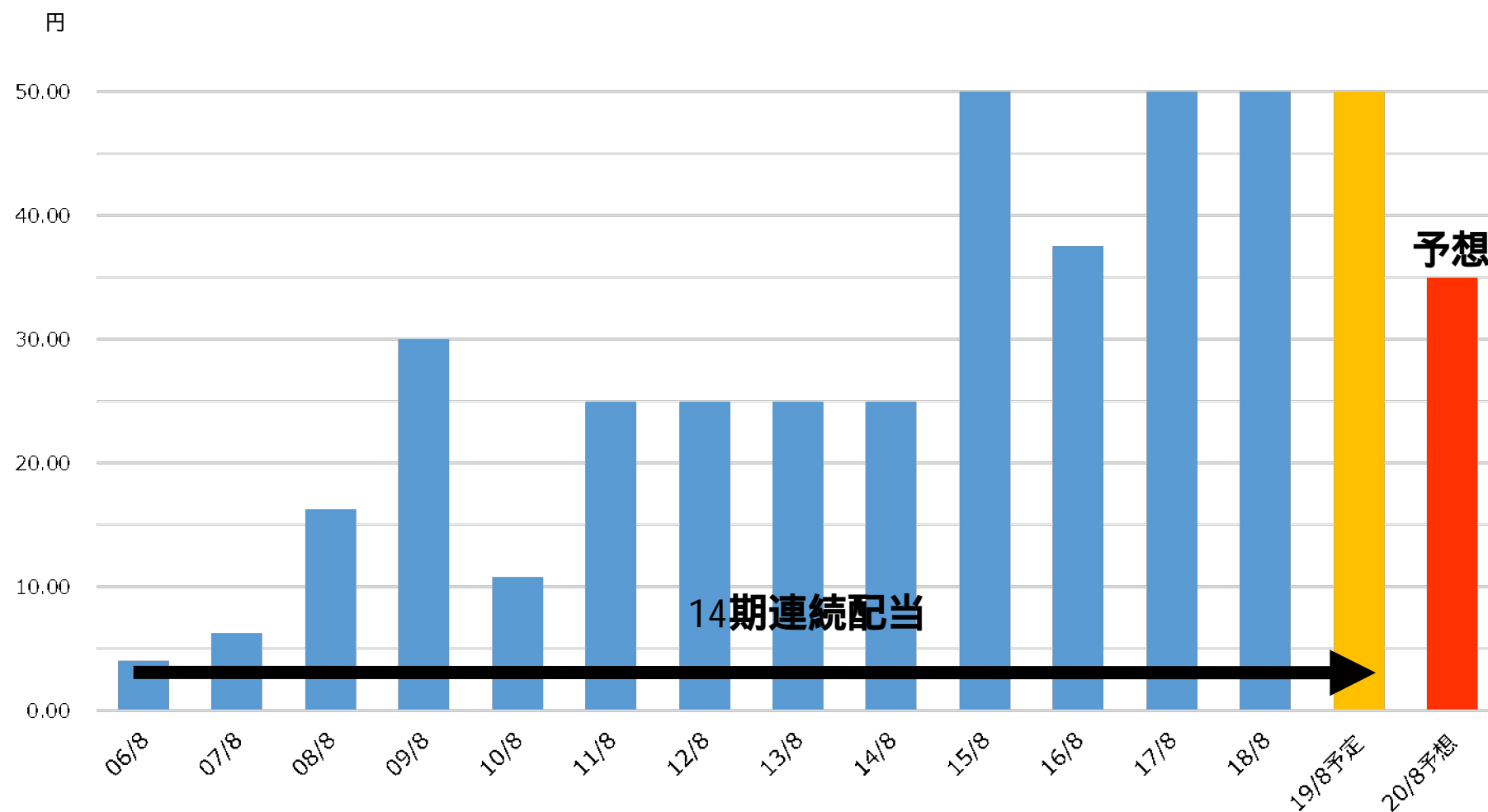
**14期連続配当**





# 配当実績

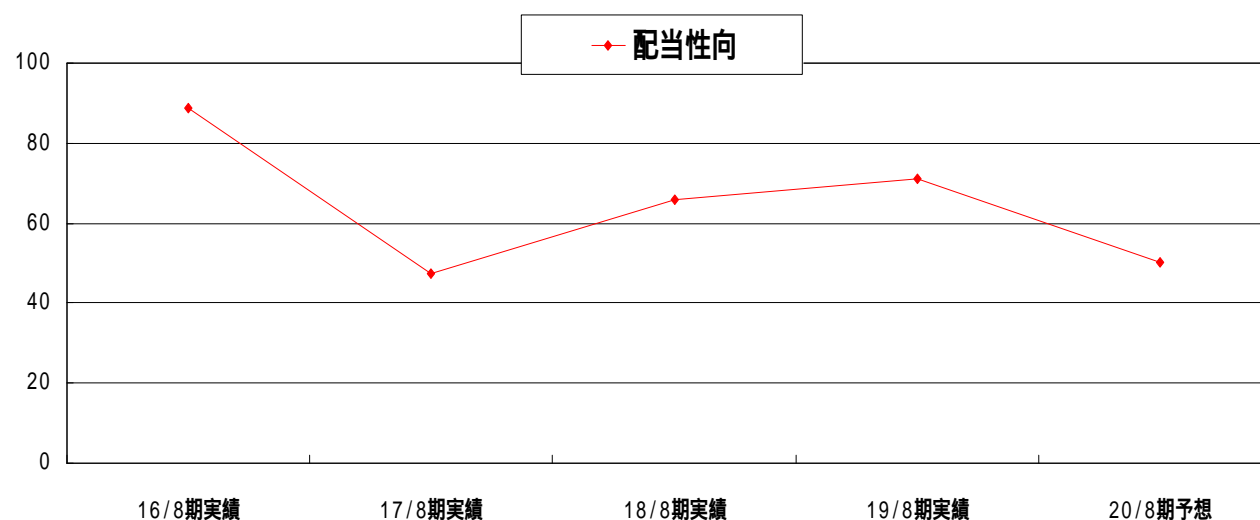
## 1株当たり配当金の推移



(注)2017年9月実施の株式400分割を実施しており、これ以前の配当金も400分割したものと計算しております。

## 成長と株主還元の両立

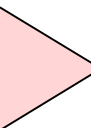
	17/8期 実績	18/8期 実績	19/8期 予定	20/8期 予想
配当性向(%)	47.5	65.8	70.9	50.2



# 成長戦略

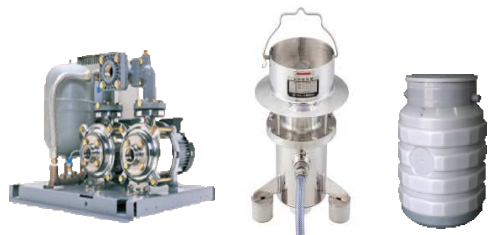
# 水処理機器 需要環境は安定的

メンテナンス体制を**全国に展開**  
リピート受注の拡大、**顧客の囲い込み**  
により営業基盤を底上げ 

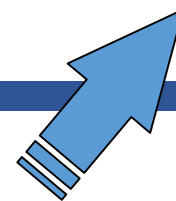
修理サービス対応 

**更新需要**を獲得 

**全国展開** 

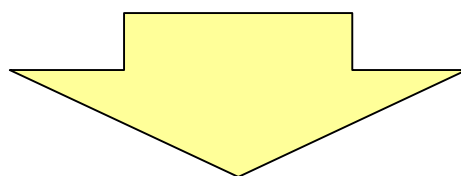


ターゲットとする想定市場規模  
卸販売約3,000億円    メンテナンス約 300億円



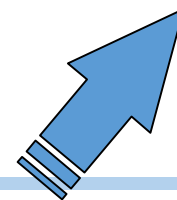
# 北陸地区で市場開拓 需要環境は良好

19/4月より北陸営業所の人員体制を強化し全域で深耕営業をスタート



中期的に**数億**の売上規模を目指す

# 防潮壁「シーウォール」



種蒔きから刈り取りへ

**有望事業**



**旺盛な需要環境**を背景に**2020/8期以降**、  
数年で**数十億**の売上を想定し**拡販**を実施

# プレート&シェル熱交換器

熱交換器の製造・販売事業は売上総利益率50%超  
拡販による業績への寄与率が高い商品



**19/8期プロスタッフを採用し配置**

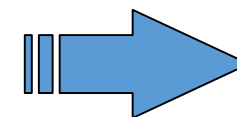
冷凍設備業者及び**セットメーカー**  
向け営業促進中

## 受注環境



船舶機器関係

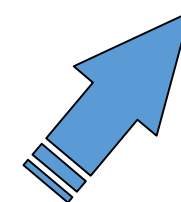
安定推移



プラント機器

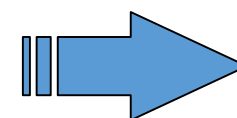
好調に推移

(前年同月比数億円の増加で推移)



船舶機器関係

安定推移





## 原価低減

既存工程・方法の見直し

### 子会社3社は生産効率を高め

〔 (株)三和テスコ、東洋精機産業(株)、(株)ミモト 〕

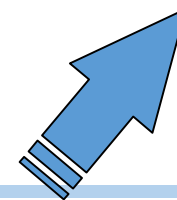
売上高・変動費率を圧縮し、各社が  
**営業利益率10%以上**を目指す

## 省人化の推進

連結子会社 東洋精機産業(株)  
ロボット機械設備の導入

連結子会社 (株)三和テスコ  
外注先である連結子会社(株)三モト  
と連携して外注コスト低減

# 消火装置ナィアス



従来

介護施設・病院・流通店舗向け拡販  
前期低水準であった

**反動による増加**も期待される

新市場開拓

原子力関連施設向け消火装置



水素ステーション向け冷却装置  
燃料電池市場を開拓

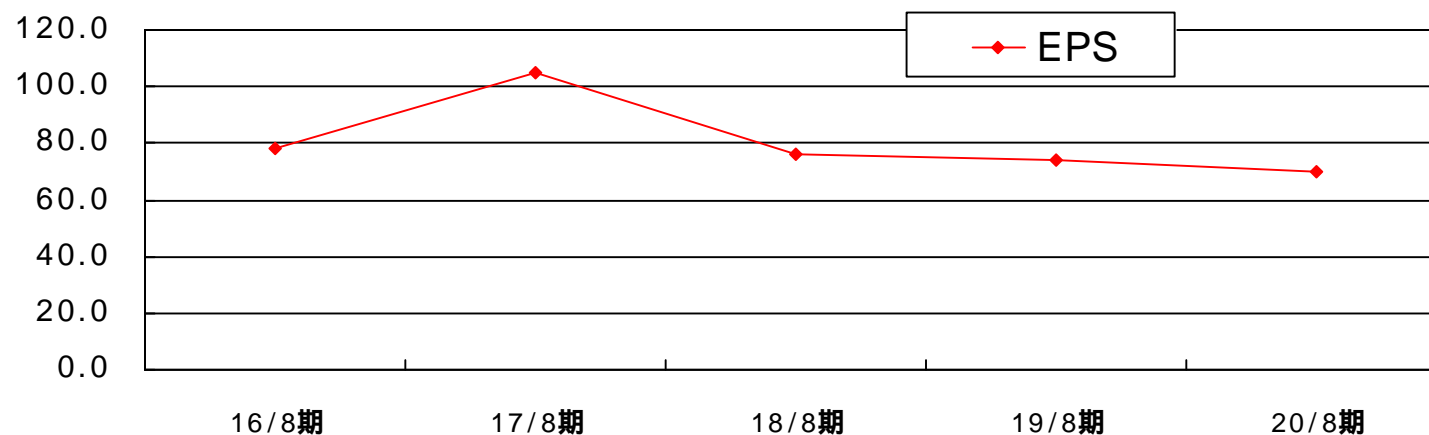
## 重点方針 - 選択と集中

# 一株当たり利益の最大化

利益の原資となる事業に経営資源を集中投下

単位：円

項目	16/8期 実績	17/8期 実績	18/8期 実績	19/8期 実績	20/8期 目標
EPS（一株当たり利益）	78.0	105.2	76.0	73.8	69.7



# スピード重視の経営を実践

当社グループ事業との関連性を重視

企業選定について

**後継者不在型M&Aを推進**

中長期的な事業の存続困難に直面している企業から事業を引継ぐ

# 事業規模拡大の経緯

## 環境・エネルギー事業

1989 ポンプの販売・メンテナンス事業を開始

1997 山尾産業(株)水処理部門営業権譲受

2002 オーゼットから営業権、製造権、特許権を譲り受け、オゾン脱臭装置の販売を開始

2009 オガタ工業買収  
攪拌機製造技術を取得

2007 「フィンランド熱交換器」  
独占製造販売権取得

2011 セイブン  
販売チャンネルと人材の獲得

## 防災・安全事業

1997 「ナイアス」販売開始

2009 「ナイアス」が  
(一財)日本消防設備安全センターの評定品となる

2019  
**(株)ミモト**

2019年5月  
完全子会社化

## 動力・重機事業

2003 溶接技術を持つ(株)三和テスコを買収

2008 精密機械加工・熱処理技術を持つ  
東洋精機産業(株)を買収

# M&A原資についての考え方

## 実施中の第三者割当による第3回新株予約権は、株価への影響を注視

**M & A 投資額**

**最大総額 15億円**

**期間**

**2019年1月～2021年12月**

2018年12月14日開示「第三者割当による第3回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及びファシリティ契約（行使停止指定条項付）の締結に関するお知らせ」参照

# アムノスの現況


**当社出資比率14.6%** 株式会社アムノス事業内容：再生医療に関わる調査、研究開発、製造・販売および輸出入

## 既存安定3事業の原資を将来性の高いビジネスに投資

### 進捗

2018年6月  
米国FDA登録



 韓国現地  
子会社設立

再生医療周辺産業の市場規模は、  
2020年には**国内市場950億円**、**世界市場1.1兆円**  
2050年には**国内市場1.3兆円**、**世界市場15兆円**と、  
今後大きな成長が予測される。

 米国での販売チャネル構築に注力  
米国大手医療機関との提携交渉中

2019年後半～2020年前半

着々と市場開拓に向けた準備は進んでいる

出典：市場規模：2018年9月 近畿経済産業局地域経済部 バイオ・医療機器技術振興課 「関西再生医療産業コンソーシアム（KRIC）の紹介」

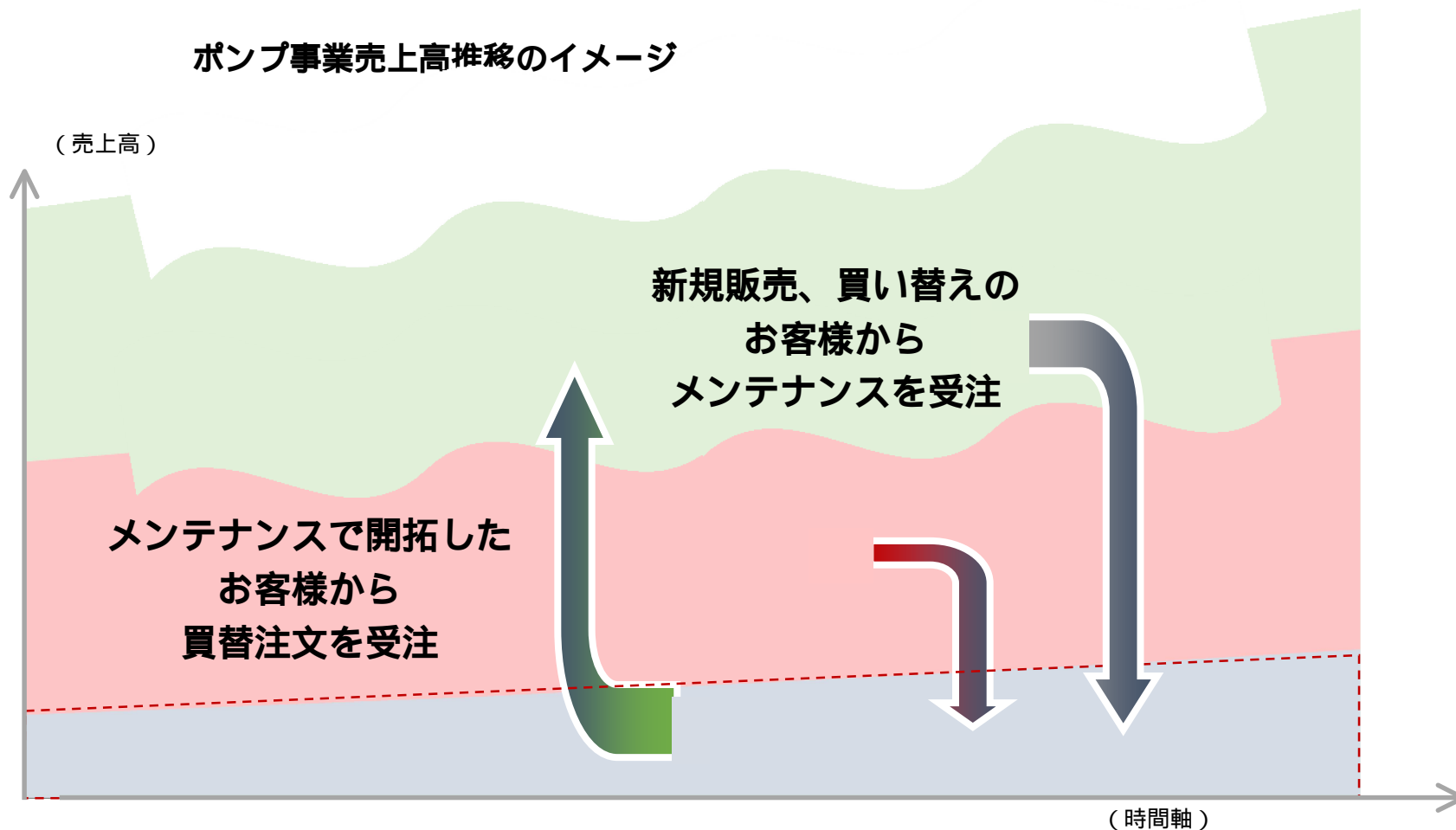


# 參考資料

# メンテナンスで顧客を囲い込むイメージ

新規販売、買い替え、メンテナンスの相乗効果で安定的な収益を確保

ポンプ事業売上高推移のイメージ

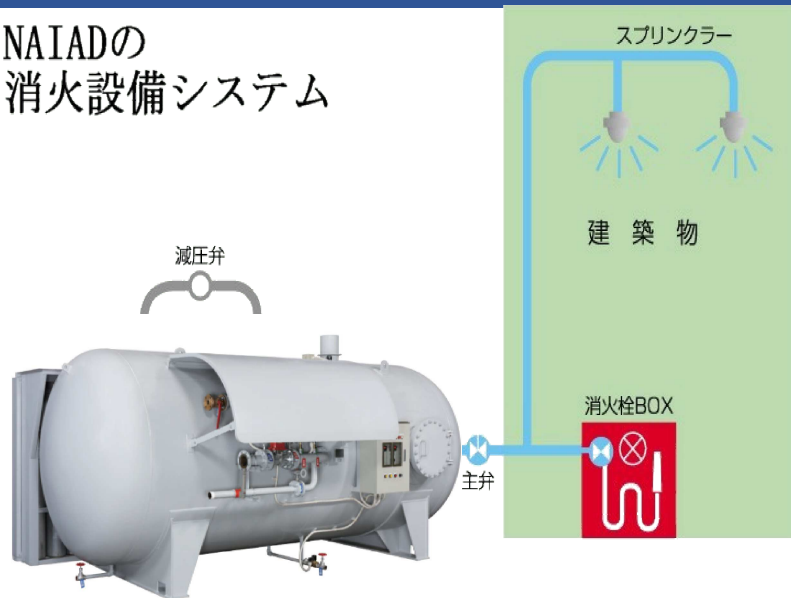


メンテナンスの売上がストックで積みあがる

■ メンテナンス ■ 買い替え ■ 新規販売

# ナイアスー商品概要

NAIADの  
消火設備システム



**電源・水道  
工事不要**

窒素ガスの圧力で放水。災害時に水道や電気がストップしても確実に作動。

**20分間  
放水可能**

火災発生から消防車が到着するまでの間に十分な放水が可能。

**電気不要のスプリンクラー消火装置「ナイアス」  
世界初の圧力水槽方式の加圧送水装置**

- ・2003年 ニュービジネス大賞受賞
- ・2009年 (一財)日本消防安全センター認定品
- ・南極・昭和基地にも10基導入

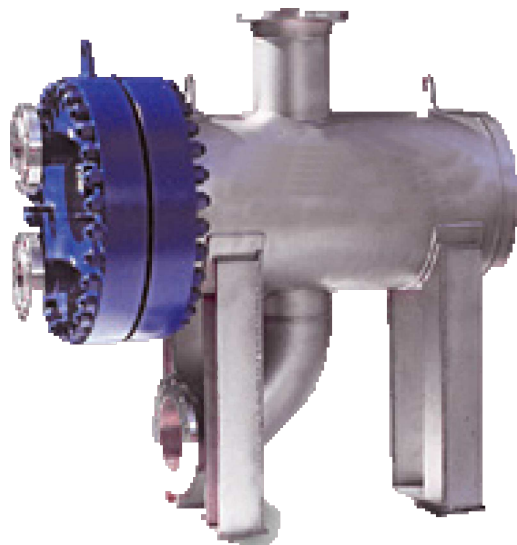
**水槽内の水は非常用  
にも使用可能**

水槽内の水は窒素ガスで封印。水が腐敗せず、震災・災害時には非常用水として使用可能。



**南極・昭和基地に  
導入された「ナイアス」**

# 熱交換器－商品概要



高温・高圧仕様にも対応する

「プレート&シェル熱交換器」

独自の構造で、高効率&コンパクトな性能を実現

- ・ フィンランドのバーテルス社よりプレート&シェル熱交換器の国内独占製造販売権を取得
- ・ 化学、製薬、食品などの各種プラントから、冷凍設備、船舶設備など、幅広い業界から高い評価

連結子会社 三和テスコの技術で従来製品の1/5に小型化

精度の高い  
温度管理が可能

建屋の建築費  
の削減が可能

他社より大幅に  
安い価格を実現

# 防潮壁－商品概要



景観を守る、命を守る

**SEAWALL**®

見える防潮壁

## 美しさと安全の共存 防潮壁用枠付透明窓「シーウォール」

### 美しい景観と 安全性の両立

高い壁の防潮堤は閉塞感があり、景色が見えない。

### クリアに見える 防潮壁

高い透明度を持つアクリル。非常時には海の様子や逃げ遅れた人の有無を伝えることが可能。

### 優れた耐候性・耐久 性衝撃に強い

F15戦闘機のキャノピーや大型水族館の水槽にも使われるアクリルの高い透明性と耐衝撃性。

### メンテナンスが 容易な構造

汎用工具で分解できる。容易にアクリル板の交換が可能。

# 防潮壁—施工事例

岩手釜石市 釜石港



大分県 別府



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。